



由利本荘市立岩城中学校 校報

いわき



第36号 2026. 1. 14(水)

寒さに負けるな!! 2026年スタート

19日間の冬休みが終わり、今日から学校が再開しました。例年、学校が再開する頃に寒気が強まりますが、今年もそれに合わせたかのように、三連休は大荒れの天気となりました。そんな天候に負けず、子どもたちが、笑顔で元気に登校してくれたことを何よりも嬉しく思います。また、冬休み中の大きな事故等の報告がなく、今日を迎えられたことに感謝申し上げます。2026年も子どもたちが充実した学校生活を送ることができるよう全職員で支援してまいります。早いもので、令和7年度も残り2ヶ月ほどとなりました。卒業進級に向けて子どもたちがよりよく成長できるよう、引き続きご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今日からの学校生活のスタートにあたり、子どもたちに伝えたのは「がんばり時で、がまんしてがんばり抜くことが成長につながる」ということです。3年生は、受験に向けて、今がまさにその「がんばり時」です。

1、2年生は、来年度の準備のための「がんばり時」です。2年生は最上級生に、1年生は先輩になるために力を蓄える時間であってほしいと思います。卒業、進級までのわずかな時間でも、苦しい「がんばり時」から逃げずにがんばることができれば、大きく成長することができます。そのがんばるための原動力は、なりたい自分の姿（目標や希望、夢）です。



学校生活は、今日が新年のスタートです。このスタートに今一度、ご家庭でもお子さんと一緒に目標や希望、夢について確認し、その実現のために今、何をしなければならないのか（何をがんばるのか）を話し合ってみてください。そして、お子さんの目標や希望、夢を実現できるよう、支えてあげてくださるようお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果

4月に実施した全国学力・学習状況調査（調査対象小6、中3）の結果が7月末に公表されました。概要については、報道などですすでにご存知のことと思います。秋田県は国語、



算数・数学、理科の全科目で全国平均を上回りました。国語、数学の数値は平均正答率(%)、理科はIRT※スコア(500を基準)です。

本校は、国語は全国平均、県平均を上回っておりますが、数学と理科は全国と県をやや下回る結果となりました。調査結果をふまえ、3年生だけでなく1、2年生の基礎・基本の定着と補充、深化に努めてきたところです。今後は授業改善を進め、子どもたちの学力の一層の向上を図っていきます。

なお、本市の結果について1月7日に市のホームページに掲載されました。その概要を裏面に掲載します。

※IRT

素点方式（国、数はこの方式）は何問正解できたかでスコアを出しますが、IRTはどのレベルの問題を正解できたかでスコアを出します。

<参考>素点方式（正答数・正答率）、IRT方式の比較 ※視力検査を例としたイメージ

	素点方式	IRT方式
得点（スコア）の表現方法	何個のCを見ることができたか。	どの大きさのCを安定的に見ることができたか
得点（スコア）の例	<p>Aさん 3問/5問 (正答率60%) Bさん 2問/5問 (正答率40%)</p>	<p>Aさん 0.2 Bさん 0.3</p>

※素点方式の場合は、Aさんの方が正答数・正答率が高くなる。IRT方式の場合は、Bさんの方がスコアが高くなる。

（資料）文部科学省「中学校理科」結果返却のポイントより

生徒の活躍

第37回原田記念東北中学校選抜大会（1/10～11）

<予選リーグ（1日目）>

本荘南・本荘北・岩城 0-2 横手明峰

本荘南・本荘北・岩城 2-0 本荘東

<決勝トーナメント（2日目）>

本荘南・本荘北・岩城 0-2 堀口（山形）

秋田県児童生徒美術展

<平面の部>

入賞 ****さん（3年）

佳作 ****さん（3年） ****さん（1年）

****さん（1年）

<立体の部>

入賞 ****さん（2年）

佳作 ****さん（3年） ****さん（3年）

****さん（2年）

****さん（2年） ****さん（2年）

****さん（1年） ****さん（1年）

令和7年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

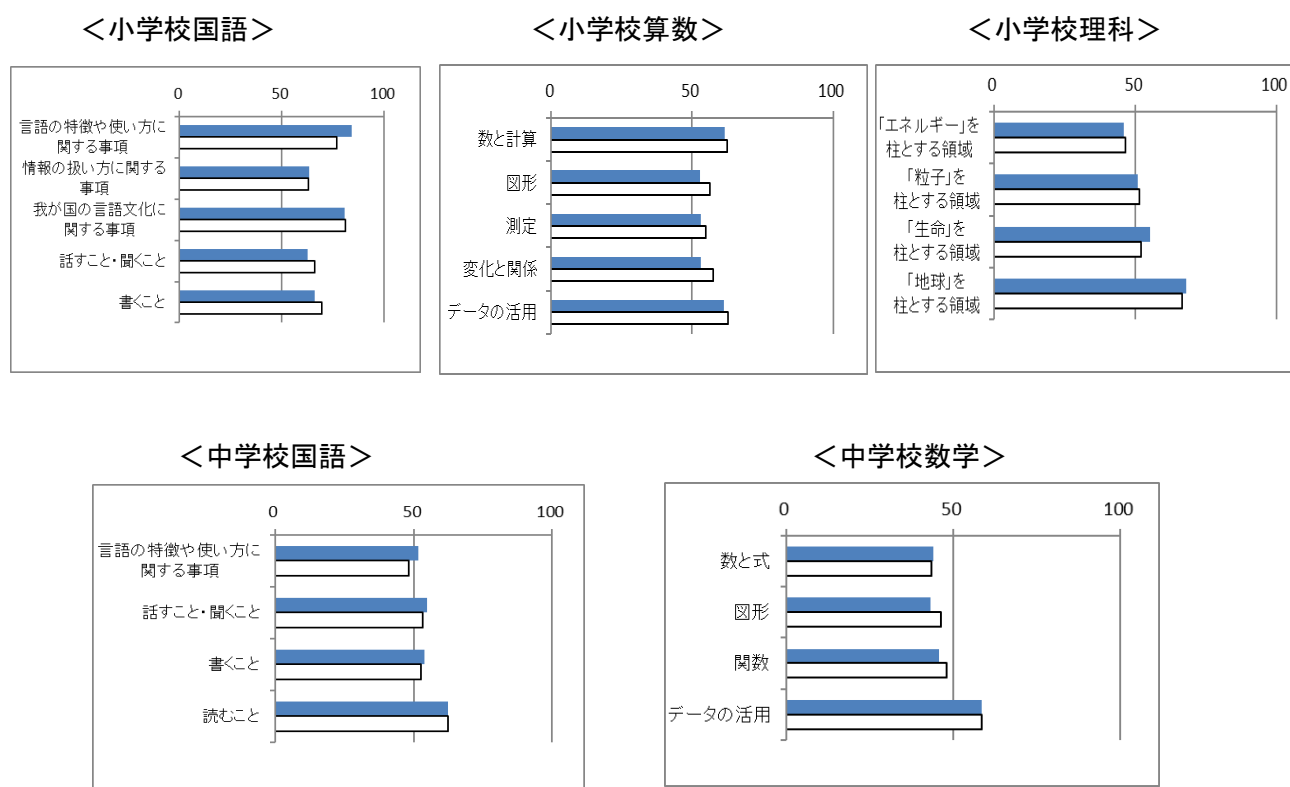
本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和7年4月14日から17日に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、小学校は国語、算数、理科、中学校は国語と数学、タブレット端末を利用した理科が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

■ 由利本荘市 □ 全国



質問紙調査からは、小学校・中学校ともに、地域や社会をよくするために自分が何かしてみたいとの回答が昨年度同様、全国平均を大きく上回っていました。由利本荘市の地域を素材としたふるさと教育が児童生徒によりよく反映されていることが分かる結果となりました。その一方、1日あたりの学習時間は昨年度に続き減少傾向にあります。また、授業でのICTの活用については、4年連続増加していますが、全国と比較すると下回っている状況です。放課後の時間とICTのより有益な使い方について、さらに改善していく必要があります。